

ARIBの動き

第119回業務委員会が開催される

第119回業務委員会が開催されましたので、その概要をお知らせします。

- 1 日時 平成18年6月21日(水) 午後2時～4時
- 2 場所 当会第2会議室
- 3 議事概要

次の項目について、事務局からの説明があり審議が行われた。

- (1) 第37回理事会・第22回通常総会の各議案の内容について説明があり、理事会及び総会に諮ることが了承された。
- (2) 第17回電波功績賞候補者について報告があった。
- (3) 第11回GSC会合について報告があり、次回会合は、日本で2007年7月にARIBとTTCが共同ホストを務めることが報告された。
- (4) アナログ周波数変更対策業務について、92.9% (430万世帯)まで実施された報告があった。
- (5) 業務委員会委員長の交代について、次回会合から、日本電気(株)から三菱電機(株)へ交代する報告があった。

ARIBからの お知らせ

ITU-R SG-9関連会合（神戸）でのARIB展示

ITU-R（国際電気通信連合無線通信部門）のSG9（第9研究委員会）関連会合（WP9A、WP9B、WP9C、WP9D）が6月27日～7月5日まで神戸六甲アイランドにて開催されます。

（別項「行政の動き」の「ITU-R/SG9関連会合の神戸開催（総務省）」も併せてご覧ください。）

会場では、6月27日から6月30日まで、主催者の総務省はじめ関係するセクターメンバー各社によって、防災無線・BWAや最近の無線技術に関する技術展示が会合出席者を対象に行われます。ARIBも「市町村デジタル同報通信システム標準規格」ARIB STD-T86が、ITU-Rの災害対策用固定無線通信方式に関する

「ITU-R勧告F.1105-2」にType Fとして追加された事から、市町村デジタル同報通信システムのパネル展示を行います。

パネルの内容は、Type F 即ちSTD-T86の規定するシステム構成と無線パラメータの概要を、想定される用途・状況に添って紹介するもので、その一部を次ページにご紹介します。

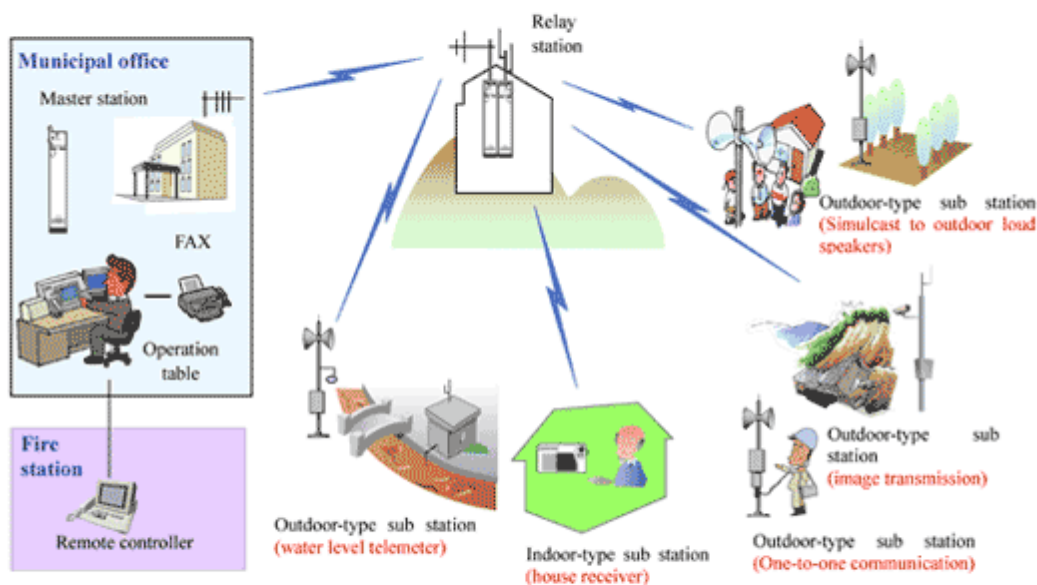
ARIB Association of Radio Industries Business

The regional digital simultaneous communication system

A regional digital simultaneous communication system based on ARIB STD-T86 is used for a local government's disaster prevention, rescue and recovery operations in the occasion of disaster and , in normal situation, for their disaster prediction and administrative communication. It is based on Type F System of proposed revision of ITU-R recommendation F. 1105-2.

- System configuration

This system consists of a master station of the local government, relay station(s) and sub stations. The communication is made between the master station and the sub stations. There are two types of sub stations, outdoor-type and indoor-type.



ARIB
<http://www.arib.or.jp>

ARIB展示パネルのイメージ

ITU-R/SG9関連会合の神戸開催
固定無線通信の国際標準化
(平成18年6月14日総務省報道発表)

総務省は、本年6月27日から7月5日にかけて神戸六甲アイランドにおいて、ITU-RのSG9関連会合を開催します。本会合は、近年急速な普及が見込まれている広帯域無線アクセスをはじめとする固定無線通信関係の国際標準を検討するものです。

1 会合概要

SG9（第9研究委員会）は、ITU-R（国際電気通信連合無線通信部門）に設置され、固定無線通信の周波数共用問題や国際技術基準等の国際標準を検討します。年間2回程度、100名規模の専門家会合が開催され、各国主管庁や標準化機関、電気通信事業者、無線機器製造業者等が参加しています。

総務省は、本会合を日本に招聘し、本年6月27日から7月5日にかけて六甲アイランド内の神戸ファッションマートにおいて開催します。

本会合では、近年急速な普及が見込まれている広帯域無線アクセスをはじめとする固定無線通信関係の国際標準を検討することとしています。

2 総務省の取組

今回の会合においては、総務省は以下のような取組を行う予定です。

(1) 我が国の電波政策に沿った標準化の推進

広帯域無線アクセスシステムについて、我が国の利用動向を踏まえたアプリケーションや干渉低減方法を提案します。また、より高い周波数帯の利用を目指して、我が国が先進的に開発してきたミリ波帯通信システムや3000GHzギガヘルツ以上の周波数を利用した無線通信システムのアプリケーションを提案します。

(2) 我が国の無線システム・技術のアピール

先般、我が国の市町村デジタル同報通信システムが防災通信関係のITU-R勧告へ追加されました。本会合においては、同システムを構成する装置を用いて詳細な展示を行うほか、固定無線アクセスシステムやワンセグ携帯等の展示を行い、我が国の先端的な無線通信技術・システムのアピールに努めることとしています。

なお、詳細は総務省の報道発表資料

(http://www.soumu.go.jp/s-news/2006/060614_3.html) をご参照ください。

携帯電話事業の環境変化と今後の政策対応に関する
二次意見募集に対する意見の公表
(平成18年6月15日総務省報道発表)

総務省は、携帯電話事業への新規参入等による環境変化と政策対応について、今後の検討に資するため、MVNO（仮想移動体通信事業者：Mobile Virtual Network Operator）周辺の技術面の問題意識、事実関係の整理及びそれらに関する考察に関して、平成18年4月27日（木）から同年5月29日（月）までの間、意見募集を実施しました。その結果、12件の意見が提出されたので、公表します。

1 経緯

総務省では、平成17年12月に「携帯電話事業の環境変化と今後の政策対応に関する意見募集」を行い、関係事業者から提出された意見等を踏まえ、「情報の共有・提供」、「接続形態」、「端末」の3つの観点から技術面の問題意識を掲げ、これらに関して必要な情報を収集し、事実関係を整理してきたところです。

平成18年4月27日には、「携帯電話事業の環境変化と今後の政策対応に関する二次意見募集」として、上記の問題意識について事実関係の整理と、それを踏まえた考察を示し、一連の内容について、取りあげた問題意識は適当であるか、事実関係の整理は正しいか否か等の観点から確認を求めるとともに、当該問題意識に対する考察について、平成18年5月29日まで意見募集を行いました。

2 今後の予定

皆様から寄せられた意見を踏まえ、平成18年中を目途に「MVNOに係る電気通信事業法及び電波法の適用に関するガイドライン」を改正するなどの、政策対応を検討します。なお、今後とも必要に応じ、随時意見募集を実施していく予定です。

意見提出者一覧および提出意見等を含む詳細は、総務省報道資料のページをご参照ください。 (http://www.soumu.go.jp/s-news/2006/060615_1.html)

編集後記

先週のARIBニュースでご報告したGSC会合のために、編集子は久しぶりにシカゴに出張したのですが、実は、持っていった風邪でひどい目にあったのです。

出発前から何となくイガイガを感じていたのですが、離陸後しばらくして喉が痛くなり始め、うがいばかりして一睡もできず、ホテル到着時には熱も出てきて、何時までも雲の上の気分。

部屋で一休みの後、20分離れた薬局まで泳ぐようにして赴き、青い水飴状で、お子様向け雰囲気満々の「喉の痛みと熱用のタイ・ノール」なるものを買ってきました。

さすがアメリカ製の風邪薬、むせるような極甘ミント味でしたが、荒っぽい効き目で熱の急降下・急上昇を丸一日以上繰り返し、日曜の準備会議もすっぱかして、殆ど意識の無いまま寝込んでおりました。

これで体力を消耗しつくしてしまい、月曜以降も半分以上夢うつつ。結局、7泊の滞在でホテルの外に出たのは初日の薬局と中日の晩飯の二度だけ。なんとも締らない出張でした。

梅雨たけなわの今日この頃、皆様も健康に気をつけくれぐれもご自愛ください。

(tss)

[ページの先頭に戻る](#) ▲